

***親子で納得

ニュースな経済学

経済ジャーナリスト・内田裕子

お金は使ってエネルギーを発揮

今、景気が悪いのはどうしてでしょう。それは「お金が世の中うまくめぐっていないから」でした。お金というものはすごいエネルギーを持っています。そのエネルギーは「人々の夢や希望を実現させる」良いエネルギーです。だからこそ「お金」はとても魅力的にうつりますし、みんなが必要とするのです。

でも「お金」を持っているだけでは、その価値は発揮されません。例えばあなたのつくえの中にしまいこんだままのお年玉は、ただの紙切れに過ぎません。あなたが1万円札をじっとながめていても何も起こらないのです。

お金というものは、何かと交換して初めてそのエネルギーを発揮するのです。ですから、お金の

本質を理解して、お金と上手につき合える人は、そのエネルギーを最大限に発揮させることで、ハッピーになれます。反対に、お金の本質をあまり理解していない人がお金を持つと、明確な目的もなしにむだづかいしたり、ただお金をためこんでしまったりします。

使って初めてエネルギーを発揮する。それがお金の本質です。ですから、世の中にお金がかまかまめぐっていると、みんなにエネルギーを与えます。例えば、企業から企業へ、企業から人へとお金のパケツリレーがスムーズだと、経済全体が元気になるのです。その量が多ければ多いほど、スピードが速ければ速いほど、経済はエネルギーになるのです。

でも、残念ながら今は不景気です。お金はうまくめぐっていません。だからみんなの生活も大変です。そこで日本政府は、「定額給付金」というエネルギーをみんなに配ろうと考えたのです。お金を使ってもらって、景気回復につなげようとし



ているのです。

しかし、将来の不安からお金を使う気になれない人も多く、思うほどの経済効果は期待できないという声や、政治家による選挙前の国民へのアピールにすぎないという非難もあります。景気対策は簡単にはいきませんね。

プロフィール 玉川大学芸術学部演劇専攻卒業後、大和証券に入社。2000年に財部誠一事務所に移籍。製造現場の取材や経営者のインタビューなどの仕事をこなす。テレビ出演、執筆、講演活動を通じて経済の情報を伝えている。